



かわちながの 働ライフ

KAWACHINAGANO HATA-LIFE

河内長野市で働く若者の仕事と暮らし

15

子どもたちの笑顔あふれる教室を

清教学園幼稚園の木下 遼子さん

ご本人や家族も通っていた清教学園幼稚園で、教諭として3年目を迎える木下遼子さん。年の離れた妹が楽しそうに通園する姿を見て、大好きだった幼稚園時代を思い出し、中学生のころには幼稚園の先生になることを決意。短期大学に入学し、実習やボランティア活動も同園を選びました。「働くのはこじかない」という強い思いから就職活動では同園だけを受験し入職、念願の幼稚園教諭になりました。

1、2年目は年少組、3年目の現在は年中組を担当しています。「笑顔あふれるクラス」をモットーに、自身も笑顔を絶やさない木下さん。園児が一日を楽しく過ごせるように気配りを欠かしません。ピアノを弾きながら、帰りの準備を手伝いながらも、クラス全体や一人ひとりの様子を確認し、声かけをします。「幼稚園教諭は責任のある仕事。帰るまでに必ずクラス全員と関わるようにしています」と話してくれました。

一方で危ないことや友だちが嫌がることなど、叱るときはしっかりと、メリハリをつけた対応を心掛けています。「どうして危ないのか」「相手はどんな気持ちになるのか」、園児が理解できるまでとことん向き合います。「毎日があつという間に過ぎていきます」と楽しそうに語る木下さん。子どもたちの笑顔と、日々のちよつとした成長にやりがいを感じながら、今日も笑顔で働いています。



取材協力

認定こども園 清教学園幼稚園

西代町9-11 (☎ 53-3917)

<https://seikyogkg.com/>

創立85周年を迎える同園。「自分が愛されていることを知り、まわりの人々を思いやることのできる子ども・自分の思いや考えを豊かに表現できる子ども・たくましい心と体を持ち、いろいろなことにチャレンジできる子ども」を教育目標にしています。



大好きな仲間とずっと一緒にいたい！

地元の友達とよく遊んでいます。食事に行ったり、ボウリングやカラオケ、旅行など、みんなで楽しくわいわい過ごしています。最近は特にボウリングでの勝負にはまっています。みんなが一つになって盛り上がるお祭りも大好きで、地元の団は卒団しましたが、いつも必ず見に行ってます！家では家族と猫4匹、犬2匹でにぎやかに過ごしています。生まれも育ちも河内長野。結婚してもこのまちでずっと暮らしていきたいですね。

